

J P V Aメールマガジン【Y E H E Y ! J P V A : 7】

第7号

発行日：2008年3月3日

Y E H E Y ! J P V A 第7号

I N S I D E N E W S

J P V A ・ N O W ~ J P V Aプロジェクト（山の学校保健室活動）

東京調布むらさきロータリークラブ、調布八雲苑ダバオ訪問！

シリーズ：～MKDの今～（早稲田大学E S T 15名ダバオ訪問、MKDとの教育交流）

お知らせ&募集

編集後記

1

J P V Aプロジェクト

山の学校保健室活動

What's School Clinic

この活動は1994年より始められました。フィリピン、ミンダナオ島ダバオ市トリル地区、カリナン地区の山間部の学校に医薬品を年に3回届けています。

医薬品を届ける学校は市街地からずっと離れたところにあり、まわりには病院も薬局もありません。そして、そこから市街地への交通手段はバイクなどです。

また、学校に通う子どもたちの多くは貧しいうえ、学校には保健室に置く医薬品を買うお金がありません。子どもたちが病気になったり、けがをした時に応急処置として使う医薬品をすぐに手に入れることができません。

この活動は現在そうしたダバオの学校21校を対象に行われています。

今回は 2008 年 1 月に行った活動の報告を掲載します。

2008 年 1 月 23,24,25,29,30 日の 5 日間活動を行いました。私達は毎回学校を訪れ、薬を届けると同時に健康に関する簡単な講習を子供達に行います。今回はハーバル（薬草）について講習をしました。学校の周りには知っていれば薬の代わりになるような植物がたくさん生えています。例えば、グァバの葉は下痢や傷に効きます。歯痛に効く植物もあります。もし、薬がない時、急に身体の調子が悪くなったときに使えるようにというねらいからです。

続きはこちら

<http://www.jpva.org/pdf/mailmagazine/mm-davao7-1.pdf>

学校保健室活動の様子（映像）はこちら

<http://www.jpva.org/video.html>

学校保健室活動の現地報告はこちら

<http://www.geocities.jp/dinadayamoako/>

学校保健室活動の国内活動の報告はこちら

<http://www.jpva.org/hoken.html>

2

東京調布むらさきロータリークラブ、調布八雲苑ダバオ訪問！

マラハン地区にて植林活動を実施

1 月 13 日から 15 日まで東京調布むらさきロータリークラブ（以下 R C ）調布八雲苑の方々がダバオを訪問されました。

14 日は午前中 M K D を訪問され、M K D の近況を実際に見ていただきました。また、R C のメンバーで M K D 後援会長の後藤秀文氏の歓迎セレモニーが行われ、後藤氏より学生に温かいお言葉を頂戴しました。セレモニー後はマラハンを訪ね植林活動を行いました。

この植林活動は、2004 年から継続して行ってきました。また、昨年からはこの活動に対して年間 5 万円のご寄付を頂いております。

今回はマラハンにある実験農場も視察され、五十嵐RC会長よりマラハンの農家に対して野菜につく害虫の予防策のお話がありました。

当日は朝から小雨が降るあいにくの天気でしたが、植林をする時には雨も止み、前回の訪問で植えた木の横にまた新しい木を植えることができました。

夕方からはMKDが主催の歓迎パーティーが開かれました。五十嵐RC会長は、「ダバオは来るたびに本当に発展している。MKDを中心に発展している感がある。・・・これからも植林活動を是非続けていきたい。」と今後の抱負を述べられました。またダバオのRCのひとつダバオイーストRCの方々との再会を果たされました。

翌日には八雲苑の方々にダバオの最貧困地区を視察していただきました。

CASEDO（カリナン社会開発環境機構）はこちら
<http://jpva.org/casedo.html>

3

シリーズ：～MKDの今～

早稲田大学EST 15名ダバオ訪問、MKDとの教育交流!!

MKDでは、昨年の夏には愛知教育大学から学生インターンを受け入れ、昨年末にはプール学院大学から研修旅行を受け入れるなど日本の大学との交流が増えています。

今回は2月12日から18日まで早稲田大学学生NGO団体ESTのメンバー15名がダバオを訪れ、MKDの学生と様々な体験プログラムを行いました。

早稲田大学ESTは2004年に『早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター(WAVOC)主催

：海外ボランティアリーダー養成プロジェクト in フィリピン』が母体の団体です。その後、「早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター(WAVOC)から06年に独立した学生NGO

団体です。過去にはフィリピンで 04・05 年に少数民族、ドゥマガ族を支援し、06 年には

ピ
ナツボ火山・噴火被災地支援などを行ってきた団体です。今回の訪問の目的は今年の夏に
フィリピンでワークキャンプを計画しており、その下見も兼ねて訪問されました。

続きはこちら

<http://www.jpva.org/pdf/mailmagazine/mm-davao7-2.pdf>

M K D (ミンダナオ国際大学)はこちら

<http://www.jpva.org/mkd.html>

M K D (ミンダナオ国際大学) ニュースはこちら

<http://www.jpva.org/mkd-news.html>

4

各種募集事項・お知らせなど

卒業式ツアーのお知らせ

J P V A では毎年、3月末に卒業式ツアーを開催しています。
今年も、同時期にM K Dの卒業式やY A G I 幼稚園の卒園式に参加するツアーを計画中で
す。日程は3月24日から4月3日を予定しています。
是非参加をご検討ください。

過去のツアーのページはこちら

<http://jpva.org/tour-kako.html>

デジタルカメラを寄付して頂けませんか？

ご家庭や職場などで使われなくなったデジカメを募集しています。集めたデジカメはM K
D (ミンダナオ国際大学) に寄贈され、学生のボランティア活動など役立てる予定です。
完全に破損してしまっているデジカメや動作しないものはご遠慮ください。
また、事務局までの送料は恐れ入りますが各自ご負担頂きますようお願い申し上げます。

連絡先

〒182-0006

東京都調布市西つつじヶ丘2 - 30 - 1

(特活)日本フィリピンボランティア協会事務局

TEL : 03 - 5384 - 9536

FAX : 03 - 3326 - 5037

E - MAIL : jpva@mua.biglobe.ne.jp

5

編集後記

メールマガジンも第7号の発行となりました。皆様、ご購入ありがとうございます。

この時期によく使われる言葉として「三寒四温」というものがあります。

三日寒い日があり、四日温かい日があるという現象ですが、寒冷前線と温暖前線が交互に通過する為に、起こるといわれています。そして、この現象を繰り返し、季節は春に向かって行きます。体調が気温に追いつくのが大変ですね。

さて、11月25日のまにら新聞の記事によると、比国家統計調整委員会(NSCB)はこのほど

、フィリピンが2015年までの達成を目指して掲げた「国連ミレニアム開発目標」8項目のうち「初等一般教育」「母親の健康改善」の2目標を実現する可能性が極めて低いとして、一層の努力を政府関係機関に勧告した。とあります。

実際、2月に早稲田大学ESTのメンバーがダバオの山間部の学校を訪問されたとき、同行させて頂きましたが、学校には教科書が足りなかったり、トイレが整備されていなかったり、所属はしているが、学校に来ない子どもが多く存在したりするなど、多くの問題を抱えていました。

学校の先生の話として、子どもたちの食事は日に1度や2度しかなく常時慢性的な栄養不足であり、両親が雇われ農家で収入が少なく、お弁当を持ってくることのできない子どもも多い。(フィリピンの公立学校は給食制度がありません。)そして、子どもたちの両親も学校に行くことより、働き手(労働力)を望んでいたりしている。結果、小学校を卒業できない子どもが多くいるとのことでした。

フィリピンにおいて小学校は義務教育です。しかしながら現実に小学校を卒業できない子どもも未だに多く存在します。

日本では俄かに信じられない話かも知れませんが、フィリピンでは子どもたちにとって小学校ですら卒業するのも簡単なことではないのです。

次回号の発行は3月中旬を予定しています。

皆さん風邪を引かないようにお体にお気をつけて、お過ごしください。

(事務局：長谷川大輔)

=====

【JPVAメールマガジン】2008年3月3日(第7号)

発行元：(特活)日本フィリピンボランティア協会 (<http://www.jpva.org>)

編集担当：長谷川大輔

問い合わせ：東京事務局(中井・長谷川)

ご意見、ご感想：info-jpva@silk.plala.or.jp

JPVA入会案内：<http://www.jpva.org/jpvaoffice.html>

メールマガジンの解除、メールアドレスの変更：info-jpva@silk.plala.or.jp

お名前、解除または変更するメールアドレスを記入してください。

Copyright(C) Japan Philippines Volunteer Association 2008

掲載記事の無断転載はおやめください。